

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

# はいさい

《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

## 組合加入強化月間スタート



こんにちは、今年も9月25日〜11月30日の間、生協強化月間が始まります。沖縄協同病院では今年度も「健康・平和・いのち輝く社会をつくる」を理念に掲げ1780人の仲間ふやしを目標にし、取組みを行ってまいります。

当院は組合員のみなさんの出資と活動に支えられています。一人ひとりが少しずつ出

したお金で、「いつでも、だけれども、安心して良い医療が受けられる」病院を運営・存続させていきたいと考えています。

また生協法では、病院利用者は組合員でなければいけないとされています。もし病院利用者のうち組合員じゃない方の割合が多くなれば、国から指導を受けることとなります。私たちは、病院を利用する方すべてが、組合員になることを目指して頑張っています。未加入の方はその点についてもご理解の上、是非、組合への加入をお願いいたします。

事務次長 當山浩三

## 病院機能評価を受審します

病院機能評価とは日本の病院を対象に組織全体の運営管理や提供される医療について「公益財団法人病院機能評価機構」が中立的、科学的・専門的な見地から評価、認定をするもので、現在は全国約3割の病院が認定されています。(病院機能評価ガイドブック)

当院は2004年に最初の認定を受け、2011年に更新、来年5月に2度目の更新審査を予定しています。

評価内容は「患者中心の医療の推進」「良質な医療の実践」「理念達成に向けた組織運営」の項目で評価調査者

(サーベイヤー)が来院し職員に聞き取りをしたり、療養環境や手順書などを確認します。

審査を受ける準備を通して病院全体で改善活動に取り組み、ひいては医療サービスの質向上や安全で安心な医療の提供につなげることが目標です。

現在は基本の「環境整備」として「5S活動(整理・整頓・清潔・清掃・習慣)」に全職員で取り組んでいるところです。

病院機能評価受審準備委員会  
師長室 玉城淳子

## 整形外科体制変更のお知らせ

9月より下記のように変更になりました

	月	火	水	木	金	土	
午前	一診	金城仁	上原昌義	津田智弘	上原健	上原健	交代 第5は休診
	二診	上原健	津田智弘	上原昌義	金城仁	若林創	

★診察開始時間9時～

★受付終了時間10時

## 「新基地建設を許さない 辺野古現地集会」に参加して



去る9月5日、名護市辺野古の米軍キャンプ・シユワブゲート前で「辺野古新基地建設断念！戦争法案廃案！工事再開を許さない！」の県民集会が開かれました。当院からも多くの職員、また組合員さんがゲート前に集まり、開会前の集中豪雨の中、早くから集会に参

加していた職員はびしょ濡れになりながらも「新基地建設反対」を訴えました。

集会が始まると、県内の各団体からの訴えや学生団体のシュプレヒコールで集会に駆けつけた参加者の熱気、新基地建設を許さない県民の思いが会場全体に広がりました。今後も辺野古基地が設置されないため、戦争ができる国にならないため、継続的に集会に参加し、私たちの思いを行動で示していかなければいけないと改めて感じさせる一日となりました。

総務課 平川俊太

## 当院にDMAT発足

## 110 リハビリ室



例え、複数の都道府県に被害が及ぶ広域災害が発生し、一つの都道府県では対応が不可能と判断された場合には被災都道府県より要請を受けたDMATが都道府県外に派遣されます。

当院DMATはまだ発足したばかりで、経験なども少なく未熟なチームですが、今後も定期的な訓練を繰り返して、地域に頼られるDMATに成長していきたいと考えております。どうぞ、宜しくお願い致します。

リハビリ室 松原勝也

近隣局地災害時、遠隔災害時などに出動します。

〈隊員紹介〉  
沖山光則 (医師) 伊良波禎 (医師)  
與那嶺雄 (看護師) 松田清隆 (看護師)  
松原勝也 (理学療法士) の5名です。

〈主な活動内容〉

2015年2月に沖縄協同病院から5名の職員が規定の研修・訓練を修了し日本DMAT隊員に登録されました。

〈隊員紹介〉  
沖山光則 (医師) 伊良波禎 (医師)  
與那嶺雄 (看護師) 松田清隆 (看護師)  
松原勝也 (理学療法士) の5名です。



皆さん、DMATってご存知でしょうか。  
DMAT(ディーマット) (Disaster medical Assistance Team)

とは災害派遣医療チームのことです。詳しく説明すると「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」のことです。



虹の箱とは患者さまの声を医療活動に反映させていくための投書箱です。

**投書** 2Fの会計とても便利で良いと思います。皆にわかるように「会計」と表示してほしいです。

**回答** 以前から表示していたのですが、担当者により表示の場所が変わっていたのでわかりにくかったのかもしれませんが、申し訳ありませんでした。改めて外科受付側からと、小児科、皮膚科側からの2方向より見やすいように固定で表示いたしました。ご意見有難うございました。

今後も皆さまの意見・要望を取り入れ、より利用しやすい病院運営に努めて参りますのでよろしくお願ひいたします。

総合案内 大田明子



**投書** 娘が発熱が続いていた為受診しました。小児科外来の受診は、初めてでしたが看護師さんの皆さんの対応がとても素晴らしいのに感動しました。言葉遣い、笑顔、患児や家族への声掛け、とても暖かく感じました。わたしも看護師をしています、自分の仕事への姿勢を振り返る機会になりました。ありがとうございます。

### 病院の活動状況 <8月度>

- ・外来一日平均患者数:538人(前年同月比-14人)
- ・入院一日平均患者数:278人(前年同月比+7人)
- ・組合員利用率:57.1%(前年同月比+0.7%)

### おきなわの自然

沖縄の薬草と名の付くものはほとんど自分で育て、料理やお茶、或いは購入して味をしてみた。その中でタントツにまずかったのはノニ(シユース)である。言葉では言い表せない味があるのを初めて知った。ノニは万病に効く(カリウムが豊富なので腎臓病には注意!)と言われ、現地では「奇跡のフルーツ」とか「神からの贈り物」と呼ばれているようだが、神は人間が万病を克服することを喜ばないようだ。

ノニの原産地はインドネシア。海岸植物の種は波で遠くまで運ばれるようにコルク状か空洞になっている。ノニの種も空洞になっている。それが八重山の海岸にたどりついてヤエヤマアオキと名付けられたのだろう。沖縄では琉球王朝時代から薬用や染料に利用していたようだが、果汁にして飲むことはなかったようだ。

「ヤエヤマアオキ」は販売業者が「ノニ(シユース)」と言う名で大々的に売り出したために、ノニの名が定着した。「安全保障関連法案」も「戦争法案」と言う名が定着しつつある。数十年前に国民の反発で見送られた「国民総背番号制」は「マイナンバー制」と名前を変えて虎視眈々と定着を狙っている。



とよみ生協病院 総務課長 金城稲子

画・内科医 上原 和博

### 響き合う 遠く近くの虫の声



### 9月9日は救急の日

## 大規模災害に備えて

3・11の東日本大震災で経験したように災害は、いつどこで起こるか予測できません。

当院では大規模災害等に備えて、食料の供給が途絶えても大丈夫なように日頃から3日分、全患者様の食事を備蓄しています。

今回、9月9日救急の日になんて、沖縄協同病院・とよみ生協病院の2院所において、昼食の主菜に備蓄食品を提供しました。

普段の病院食を食べ慣れている患者様の中には、濃い味付けだったため驚いている方もいらっしゃいました。

また、「備蓄食品にはおいしい」などの感想もありました。

この機会を通して実際の災害の食事がどういったものなのか、理解を深めていただけたと思います。

栄養管理室 平原貴久乃

